

# 尾鷲港港湾計画資料

－軽易な変更－

令和7年12月

尾鷲港港湾管理者  
三重県

## 目 次

1. 変更理由	1
2. 港湾施設の規模及び配置に関する資料	2
3. 環境の保全に関する資料	3
4. その他の資料	4
4－1. 尾鷲港（林町地区）港湾計画新旧対照図	4
4－2. 三重県港湾審議会委員名簿	5

## 1. 変更理由

林町地区において、既設棧橋の老朽化及び、須賀利漁港と結ぶ定期航路の廃止を踏まえ、旅客船埠頭計画を廃止する。

また、当該地域の主要産業である水産加工業の振興のため、小型船だまり計画を変更する。

## 2. 港湾施設の規模及び配置に関する資料

### 2. 1 旅客船埠頭計画

#### (1) 概要

林町地区において、既設栈橋の老朽化及び須賀利漁港と尾鷲港を結ぶ航路の廃止に伴い、旅客船埠頭計画を廃止し、以下の施設を撤去する。

#### (2) 施設

既設	
小型栈橋	1 基

### 2. 2 小型船だまり計画

当該地域の主要産業である水産業の振興のため、小型船だまり計画を次のとおり変更する。

泊 地	水深 3 m	面積 0. 3 ha	[既設]
防 波 堤	延長 3 0 m		[既設]
物 揚 場	水深 1 ～ 3 m	延長 1 7 4 m	[既設]
小型栈橋	1 基 (専用)		[新規計画]

### 3. 環境の保全に関する資料

今回の計画変更は、旅客埠頭計画に位置付けられている老朽化した浮棧橋（75m<sup>2</sup>）を、小型船だまり計画に新たに位置付ける同一規模の浮棧橋に置換えるものである。

浮棧橋の水域専有面積などに大きな変化は無いことから、環境に及ぼす影響は軽微であると考えられる。

## 4. その他の資料

### 4-1. 尾鷲港（林町地区）港湾計画新旧対照図

#### 既定計画



凡 例	
	航路・泊地 (既設)
	防波堤 (既設)
	公共岸壁 (既設)
	公共物揚場 (既設)
	公共船揚場 (既設)
	物資補給岸壁 (既設)
	公共耐震強化岸壁 (計画)
	専用ドルフィン (既設)
	係船浮標 (既設)
	小型棧橋 (既設)
	施設撤去
	埠頭用地 (既設)
	緑地 (計画)
	臨港道路 (既設)
	その他の用地 (既設)
	将来構想

#### 変更計画



Copyright: 三重県2020  
共有デジタル地図 (三重県市町総合事務組合) M-GIS から出力

凡例		
	航路・泊地	(既定計画)
	防波堤	(既設)
	物資補給岸壁	(既設)
	公共岸壁	(既定計画)
	公共耐震強化岸壁	(既定計画)
	公共物揚場	(既設)
	小型棧橋	(今回計画)
	施設撤去	(既設)
	埠頭用地	(既定計画)
	緑地	(既定計画)
	交通機能用地	(既定計画)

## 4－2．三重県港湾審議会委員名簿

分野	役職名	氏名	備考
学識経験者	公益社団法人 日本港湾協会 理事長（港湾工学、港湾行政）	おおわき たかし 大脇 崇	
	三重大学人文学部教授 （計量経済学、地域経済研究）	あさひ さちよ 朝日 幸代	
	三重大学大学院生物資源学科研究教授 （水文学、自然災害科学）	くずは やすひさ 葛葉 泰久	
	三重大学大学院生物資源学科研究教授 （水産学、魚類行動生理学）	みやざき たえこ 宮崎 多恵子	
	愛知淑徳大学人間情報学部教授 （交通工学）	もり ひろこ 森 博子	
県議会	三重県議会議長	はっとり とみお 服部 富男	
	三重県県議会 防災県土整備企業常任委員会副委員長	いげはら ひろき 荊原 広樹	
港湾関係者	三重県漁業組合連合会 常務理事	うえじ もとまさ 植地 基方	
	日本トランスシティ株式会社 取締役	おがわ けん 小川 謙	
	三重海運 株式会社 代表取締役社長	はしもと まさと 橋本 正人	
関係行政機関	財務省名古屋税関長	ならい こう 奈良井 功	
	国土交通省中部運輸局長	なかむら ひろき 中村 広樹	
	国土交通省中部地方整備局長	もりもと あきら 森本 輝	
	海上保安庁第四管区海上保安本部	さわい ゆきやす 澤井 幸保	

※重要港湾（津松阪港、尾鷲港）に係る案件がある場合、開催時に臨時委員を委嘱する。

関係行政機関	（臨時委員）津市長	まえば やすゆき 前葉 泰幸	津松阪港（津港区）に係る 港湾審議会開催時のみ就任
	（臨時委員）松阪市長	たけがみ まさと 竹上 真人	津松阪港（松阪港区）に係る 港湾審議会開催時のみ就任
	（臨時委員）尾鷲市長	かとう ちはや 加藤 千速	尾鷲港に係る港湾審議会 開催時のみ就任